

## 居眠り&脇見運転警告システムアイキャッチャー

### 取扱説明書

型番:DRVARM02  
Version2.0. y



保証期間: 12ヶ月

※納品書・レシート等が保証書の代わりとなります。

### ●故障かな?と思ったら●

修理・メールのお問い合わせは、下記ページにアクセスしてください。

<https://www.thanko.jp/smartphone/page59.html>

または QR コードを読み込んでアクセスしてください。



### 不具合品のご送付先

〒341-0043 埼玉県三郷市栄 4-72-1  
EL 倉庫内 サンコーサポート宛  
TEL 03-3526-4328 FAX 03-3526-4329  
(月~金 10:00 ~ 12:00 13:00 ~ 18:00 土日祝日を除く)  
お問い合わせメールアドレス support@thanko.jp

### ●仕様

サイズ	幅70×高さ40×奥行15(mm)
重さ	37g
付属品	本体(GPSアンテナ付)、吸盤アタッチメント、シガーケーブル(約3m50cm)、日本語説明書
電源	12V/24V 両対応 シガーソケットより給電
出力	5V 1.5A
検出距離	45~65cm(±5cm)
視野角	60度
警告開始時間	目を閉じてから1~2秒後
動作可能温度	-20~60度
保管可能温度	-20~80度
パッケージサイズ	幅165×高さ74×奥行105(mm)
パッケージ重量	384g

### ●セット内容



- ①本体(GPSアンテナ付)
- ②吸盤アタッチメント
- ③シガーケーブル(約3m50cm)

### ●各部名称



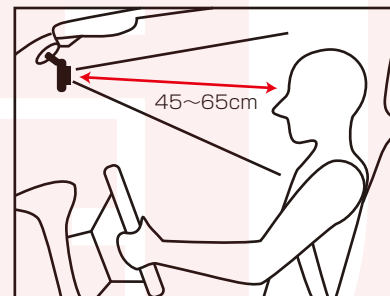
### ●吸盤アタッチメントの着脱

上部に吸盤アタッチメントを取り付けます。ミズに合わせてスライドさせ、奥にはめ込んで下さい。



### ●車に設置する

■取り付け位置について  
本機と運転手の瞳までの距離が概ね45~65cm以内に収まるように設置して下さい。本機のセンサーが運転手の瞳を捉えるような角度に調整して下さい。



### ●車に設置する

■吸盤を取りつける  
取り付けたい場所に吸盤を付け、レバーを上げてロックして下さい。しっかりと取り付けられているか、落下しないか確認して下さい。



### ●GPSアンテナの設置

本体に付属しているGPSアンテナを設置します。裏の赤いシートを外し、車に固定して下さい。

裏面に続きます

## ● 電源の接続

本機サイドにあるminiUSBポートにシガーケーブルを接続します。シガーアダプタ側を車のシガーソケットに差し込みます。



## ● センサーに認識させる

運転者の瞳を認識させます。

- ①車のエンジンをかけると、自動的に本機の電源も入ります。
- ②本機上にある【キャリブレーションボタン】を押します。
- ③音声ガイダンスに従い、センサーの正面に瞳の位置を合わせます。
- ④ステータスランプがオレンジに変わります。
- ⑤「正しく検知されました」の音声が流れれば、終了です。ステータスランプが緑に変わります。

※センサーに認識させる作業は最初のみです。運転者が変わってうまく動作しない場合は、再度行って下さい。  
※うまく認識できない場合は、一度ケーブルを抜いて、少し経ってから再度行って下さい。

キャリブレーションボタン



ステータスランプ

## ● 警告について

- ①わき見運転など、目線が正面から外れている場合「正面を向いて運転して下さい」
- ②居眠りなどで瞳が確認できない場合「運転に注意して下さい」+警告アラーム→確認できない状態が続いた場合「あぶない、あぶない」

※警告音のボリューム調整はできません。

## ● GPSについて

GPSを検知している場合、徐行運転(時速約20km以下)や停車中などの場合、警告を鳴らさないようになります。

GPSを使えない場合、運転中と同じように警告音が鳴ります。警告音をオフにしたい場合は、本機上にある電源ボタンを押すと、電源がオフになります。

## ⚠️ ご注意

- ※記載されている物以外は付属いたしません。
- ※落としたり強い衝撃を与えないでください。
- ※分解しないでください。
- ※本製品をご利用において生じる物品の破損は、補償の対象外となります。
- ※小さなお子様の手が届くところで保管、使用しないでください。
- ※本製品に熱や異音、異臭などの以上が認められた場合は直ちにご利用を止め、弊社サポートセンターまでご連絡下さい。
- ※本製品は居眠り・わき見運転を完全に防止する機器ではなく注意を喚起する商品です。全ての条件において感知・警告を保証するものではありません。
- ※真夏の炎天下の車内は非常に高温になりますので、長時間乗らない場合は外して保管して下さい。